

預託金の運用状況(経過的長期預託金管理経理)

名古屋市職員共済組合

平成30年度

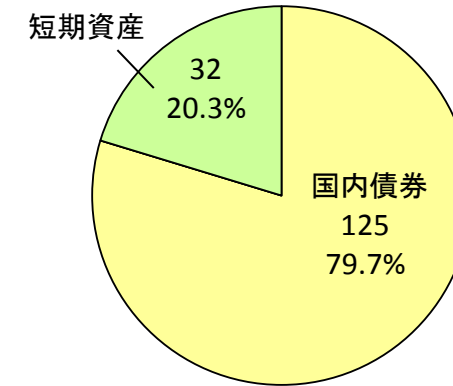
(単位:百万円)

資産区分	年度末の時価総額		修正総合利回り
		構成割合	
国内債券 (縁故地方債)	125	79.7%	0.68%
貸付金	—	—	—
短期資産	32	20.3%	0.00%
合計	157	100.0%	0.67%

注1 それぞれの項目は、単位未満について四捨五入しているため、必ずしも合計と一致しない。

注2 修正総合利回り=(実現損益+未収収益増減)÷(簿価平均残高+前期末未収収益)×100(%)

<平成30年度末の時価総額>

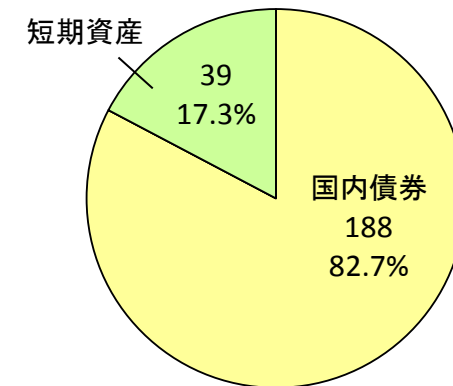


(参考)平成29年度

(単位:百万円)

資産区分	年度末の時価総額		修正総合利回り
		構成割合	
国内債券 (縁故地方債)	188	82.7%	0.72%
貸付金	0	0.0%	2.45%
短期資産	39	17.3%	0.00%
合計	227	100.0%	0.76%

<平成29年度末の時価総額>



* 預託金とは、地方公務員等共済組合法施行令第17条の2第1項第5号の規定に基づき、組合員の福祉の増進又は地方公共団体の行政目的の実現に資するように全国市町村職員共済組合連合会がその構成組合へ預託し、管理されている資金である。